

## 政策提言フォーマット

## 1 団体概要

団体名	所在地
(1) みやぎの環境を考える会 (2) 竹の内産廃からいのちと環境を守る会	宮城県仙台市 宮城県柴田郡村田町
代 表	
(1) 千葉 毅 (会長) (2) 岡 久 (事務局長)	
担 当	連絡先 tel & fax
(1) 原田 光 (2) 佐藤正隆	(1)022-227-3647 (2)0224-83-2875
	e-mail
	Hikaru.Harada@mb2.seikyou.ne.jp

## 団体の活動プロフィール

- (1) みやぎの環境を考える会  
平成 8 年設立、会員約 50 名、会長、副会長、事務局  
県内の環境問題と取り組んでいる個人・団体に呼びかけ、その成果・データをまとめて、年に 1 回、学会形式の発表会(“みやぎの環境を話そうじゃない会”)を主催。発表件数は、約 20 件、会場にはパネルも 10 件程度展示発表。  
参加者は 120 名程度。  
また、平成 8 年 8 月から、毎年 8 月と 2 月に仙台市民に呼びかけて、仙台市の気温を一定時刻に一斉に測定し、ヒートアイランド現象の調査を以来 5 年間(この 2 月で計 10 回)実施している。参加者は、この 2 月の調査では 200 名近くに達している。成果の一部は、環境省(旧名称のまま)が実施中の東京、名古屋、仙台の 3 都市についてのヒートアイランド現状調査に、仙台市民による調査例として提供。
- (2) 竹の内産廃からいのちと環境を守る会  
平成 11 年設立。会員 156 名、代表役員 5 名、事務局 3 名、役員 12 名。  
機関：全体会議、三役会議、事務局会議、総会。  
具体的な運動の進め方。  
住民による立ち入り調査をはじめ、監視、通報、連絡、手帳付け運動など日常的に可能な活動を行う。  
守る会として、(株)アース=安西や役場、保健所、県に交渉を継続する。  
環境学習会を開き、守る会会員を拡大していく。

## 政策提言フォーマット

## 2 政策提言概要

<p><b>(1) テーマ</b></p> <p>廃棄物最終処分場の周辺住民を不安から解放するための政策。</p>
<p><b>(2) 政策対象分野</b></p> <p>廃棄物処分場の安全な維持・管理・運営の実施。</p>
<p><b>(3) 政策手段</b></p> <p>処分場経営者に対し、廃止後も含め施設の安全管理、運営・維持に必要な措置として、資金の積立を義務づける。操業中の展開検査等を信頼性のあるものにするため、資格制度を導入し、有資格者に記帳・管理させる。また、施設の影響を受ける住民が現場に適時立ち入って、地下水・臭気等について調べることを保障する制度を確立する。</p>
<p><b>(4) 提言概要</b></p> <p>具体的目標：処分場周辺環境（大気・地下水など）を生活環境に適した状態にする。 臭気の低減、軽微なものを含め住民の諸症状の完全解消。</p> <p>手段： 排ガスの低減のための装置の設置、その機能の維持・管理。 浸出地下水の定期的検査、周辺の水系の水質調査。 すべて、情報公開の精神にのっとり、調査は、住民立会いのもとに、業者および保健所において実施し、その結果を関係住民に開示する。</p>
<p><b>(5) 政策の推進に当たっての検討事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最終処分場（特に安定型とされている施設）の実情を把握すること。 処分場の長期にわたる潜在的危険性についての知見の整理。 * その一端を添付資料に示した。</li> <li>・ 資金について、 廃棄物処分に関する経費の分担について。 業者の負担分、負担能力について。 長期にわたる場合の資金源について、県民の税金の投入が必要となるのか。</li> </ul>